

(一財) 日本水土総合研究所 宮崎セミナー

参加無料

「スマート農業と高収益作物の推進 (畑作地帯)」

本年5月、農政の基本理念や政策の方向性を示す食料・農業・農村基本法の一部が改正され、食料安全保障の確保、環境と調和のとれた食料システムの確立、多面的機能の発揮、農業の持続的な発展、農村の振興を基本理念として位置づけました。そして、これらの基本理念の実現に向け、関連法を含め具体的な施策を食料・農業・農村の各分野で実施していくこととしています。

この中で、食料・農業・農村政策の具体的な施策として、スマート農業技術や新品種の開発による生産性向上や農業者の収益性向上に資する取組を進めることとしています。

また、宮崎県では、「持続可能な魅力ある宮崎農業」を実現することとして、スマート生産基盤の確立による産地革新に取り組むこととしています。

今回、このような状況を踏まえ、宮崎県において、『スマート農業と高収益作物の推進 (畑作地帯)』をテーマとするセミナーを開催することとしました。

本セミナーでは、ICTを取り入れ、スマート農業を実践する有限会社新福青果の栗原執行役員から、『事例報告～農業法人におけるスマート農業推進の効果と課題』と題して講演いただきます。

また、宮崎県農政水産部農産園芸課畑作・園芸担当 荻原課長補佐から『宮崎県におけるスマート農業の取組』と題して、そして国家公務員からマンゴー農家に転職した柿田様から『高収益作物で新規就農してみよう』と題して、ご講演いただきます。加えて、当研究所からは『自動走行農機等に対応した農地整備』について、日頃の研究成果の一端をご紹介します。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の地域農業の振興に貢献する農業農村整備・農村振興施策推進の一助となれば幸いです。

■ 日時 : **令和 6年 10月 17日 (木) 13:30~16:50**
(開場・受付 13:00~)

■ 会場 : **宮崎県土地改良事業団体
連合会 4階研修室**

〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町 388 番地 14

TEL : 0985-24-3022 (代表)

交通アクセス : JR 宮崎駅から徒歩 15 分

■ 定員 : **50 名**

会場参加は定員になり次第締め切りとさせていただきます

別途 Web 配信予定

■ 主催 : **一般財団法人 日本水土総合研究所**



プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	(一財)日本水土総合研究所 総括技術監 石川 善成
13:40	基調講演 (50分)	「事例報告～農業法人におけるスマート農業推進の効果と課題」 有限会社 新福青果 執行役員 栗原 貴史
14:30	質疑(10分)	
14:40	講演 (40分)	「宮崎県におけるスマート農業の取組」 宮崎県農政水産部農産園芸課 畑作・園芸担当 課長補佐 荻原 雅彦
15:20	質疑(5分)	
(15:25～15:40) 休憩		
15:40	講演 (40分)	「高収益作物で新規就農してみた」 マンゴー農家 柿田 洋一
16:20	質疑(5分)	
16:25	報告 (20分)	「自動走行農機等に対応した農地整備」 (一財)日本水土総合研究所企画研究部水土資源保全グループ 主任研究員 青木 翔
16:45	質疑(5分)	
16:50	閉会	

基調講演講師紹介

有限会社 新福青果 執行役員

栗原 貴史 (くりはら たかふみ) 氏

【紹介】

九州大学農学部卒業。農林水産省、関東農政局での勤務を経て(有)新福青果へ入社

令和元年と2年にスマート農業実証プロジェクトを推進

食農連携機構「アグリビジネス研究会」、農研機構「九州沖縄地域マッチングフォーラム」等でスマート農業をテーマにした講演を担当

現在は執行役員として新規事業の企画や社内システムの見直しを進めている。

参加申込

以下の事項をメール(またはFAX)で送付願います。

- ①会場参加 もしくは Web 参加 ②所属等 ③参加者氏名 ④住所 ⑤電話番号
⑥メールアドレス ⑦CPD 登録番号 (CPD プログラム参加の方)

注) WEB 参加の場合: 後日接続 URL 等をメールで返信します。

申込先

Eメール: koueki@jiid.or.jp (またはFAX: 03-3502-1329)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 管谷、権谷までお願いします (電話 03-3502-1387)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番17号 虎ノ門NNビル